

八女市における
地域共生社会の実現に向けた
取り組みについて



～ 八女市のチャレンジ 社協の視点から ～



お話しする内容

- 1 八女市の概要
- 2 八女市における地域共生社会に向けた包括的支援体制
- 3 相談支援包括化推進
～個別支援コーディネートと分野を超えた複雑な課題の対応～
- 4 福祉生活支援室 ～ ほっと館やめ ～
- 5 小地域福祉活動 ～「我が事」の地域づくり～
- 6 八女市の地域共生社会の取り組みから生まれた地域資源や活動
- 7 まとめ ～ 課題と将来像 ～

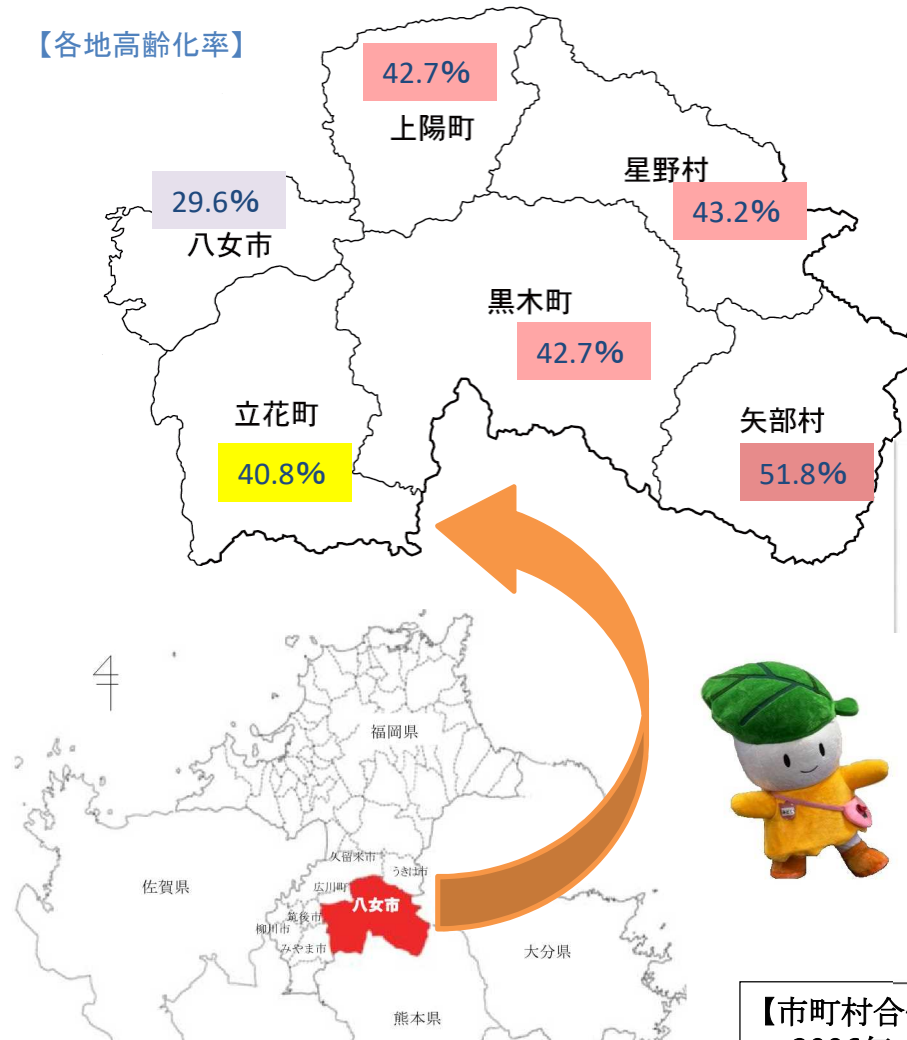


1 八女市の概要

八女市の概要①

(2019年4月1日現在)

【各地高齢化率】



総面積 4 8 2 . 4 4 km²
 (広さ県内2位、森林率65.6%)
 八女本庁から矢部支所まで自動車です0分

総人口 6 3 , 3 7 1 人 (前年度比 △951人)
 世帯数 2 4 , 8 6 7 世帯 (独居・高齢者のみ率 32.7%)
 高齢化率 3 4 . 0 %
 (2040年の最新全国推計 35.3%)

生活保護率 0.735% (2018年1月1日現在)
 障害手帳所持率 (3障害のべ) 8.38%



【市町村合併】

2006年 八女市へ上陽町編入合併
 2010年 八女市へ黒木町・立花町・星野村・矢部村編入合併


福岡県の高齢化率 27.1% (2019年4月1日)



八女市の概要②

平成31年4月1日現在

項目	八女市 全体	旧 八女市	上陽町	黒木町	立花町	矢部村	星野村
人口	63.371	37.678	2.786	10.266	9.081	1.129	2.431
65歳以上 人口	22.080	11.171	1.191	4.381	3.701	585	1.051
75歳以上 人口	12.075	5.736	688	2.507	2.060	400	684
高齢化率	34.84	29.64	42.74	42.67	40.75	51.81	43.23
世帯数	24.867	14.906	1.150	3.877	3.410	519	1.005
独居	4.644	2.486	238	806	626	182	306
高齢者 のみ世帯	3.477	1.748	208	675	588	113	145



**2 八女市における
地域共生社会に向けた
包括的支援体制**

地域共生社会に向けた包括的支援体制

相談支援包括化推進

(分野を超えた複雑な課題対応)

相談支援機関ネットワーク



福祉生活支援室

(丸ごと受け止める場)

ほっとする場所、
ホットな場所、
ほっとけない場所

ほっと館

フードバンクほか



アウトリーチ

複雑な家庭環境の支援が必要

要支援情報

コミュニティソーシャルワーカー
(兼 生活支援コーディネーター)



例) 家に閉じこもりがちな人



小地域福祉活動

(我が事の地域づくり)

福祉部会

福祉ネットワーク

福祉サービス利用

地域サロンに参加

地域ボランティアに参加など

地域サロン

民生委員児童委員
・福祉委員等

ボランティア





3 相談支援包括化推進

～個別支援コーディネーターと分野を超えた複雑な課題の対応～

相談支援包括化推進員の役割

**あなたのまちの相談員
まるごとサポーター**
～相談支援包括化推進員～

どこに相談していいのかわからない方々へ

平成30年7月
事業開始

「子育て中なのに、親の介護もある、疲れました・・・」「離職して引きこもってしまった我が子の将来が心配。」「家にごみが積み重なってるんだけど・・・」など、どの相談機関に相談していいのかわからないことありませんか？
さまざまな相談ごとを「丸ごと」受け止めます。まずはお気軽にご相談ください。

各分野で相談支援を行う専門職の皆さんへ

「自分の専門分野外の課題を抱えた人やご家庭を支援しているけど、どうしたらいいの。」「他の相談機関の人と一緒に支援できたらと考えているけど、方法がわからない。」など、他の相談機関との連携にお困りではないでしょうか？

『まるごとサポーター（相談支援包括化推進員）』は次の取り組みを行います。

- 複雑な課題を抱える人の相談支援・調整
福祉総合相談等で受けたケースや、各分野の相談窓口が抱えている複雑多岐な課題を抱えるケースに対して、分野を問わず相談を受け、課題整理して、各分野の支援機関と支援調整をします。
- 他機関連携のためのネットワークづくり
各分野（高齢、しょうがい、子ども等）の相談支援機関と連携し、相談支援者同士の「顔が見える関係づくり」や各分野を超えた相談支援機関が機能的につながる体制づくりを行います。



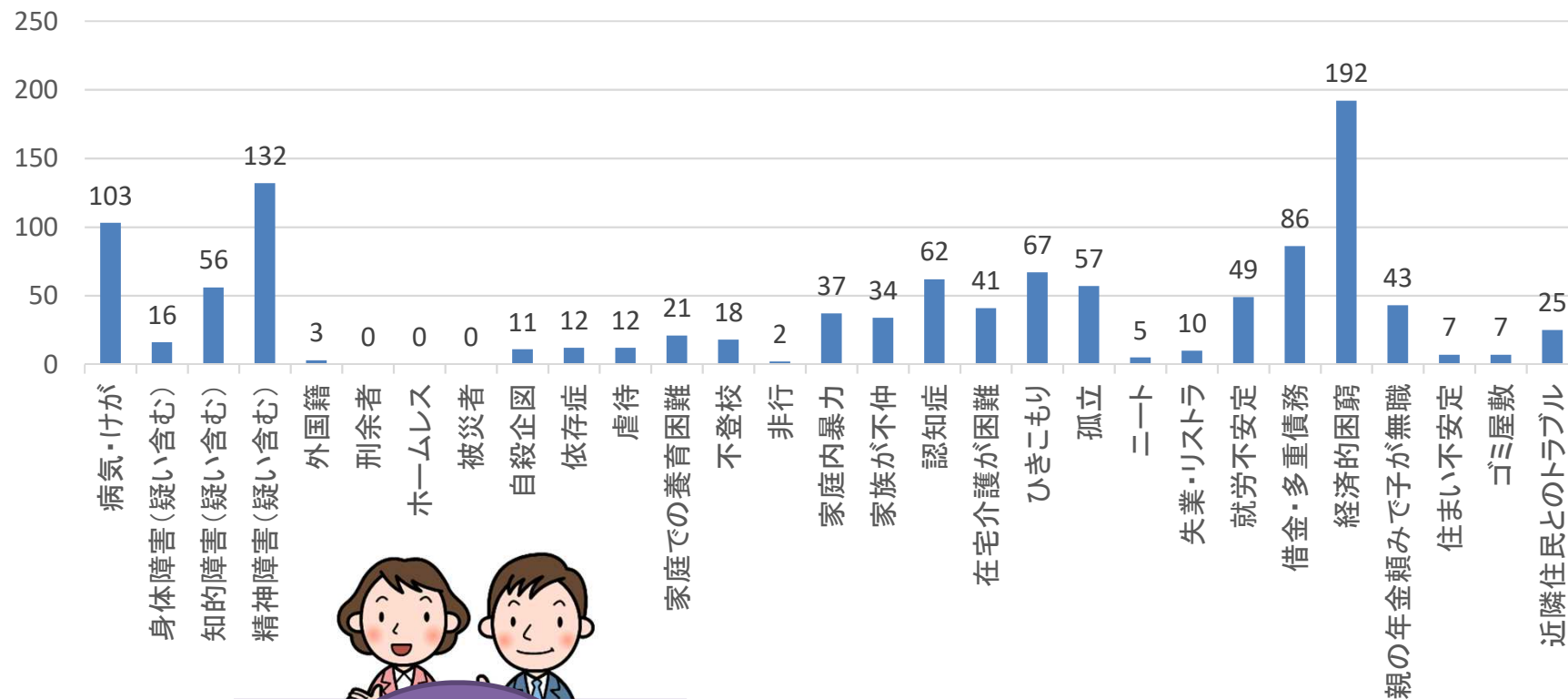
まるごとサポーター
(相談支援包括化推進員)

- 複雑な課題を抱える人の相談支援・調整
 - 多機関連携のためのネットワークづくり
- 相談支援包括化推進員（まるごとサポーター）を市内6地域（日常生活圏域）に6名設置。
CSWや包括、障害相談支援事業所等と連携し、個別ケース対応を行っています。
- 各分野の相談支援機関ネットワークを構築するため、各分野の核となる相談支援機関（コーディネート機関）との連携会議も行っています

相談支援包括化推進員(まるごとサポーター)の活動実績(2018.7月-12月)

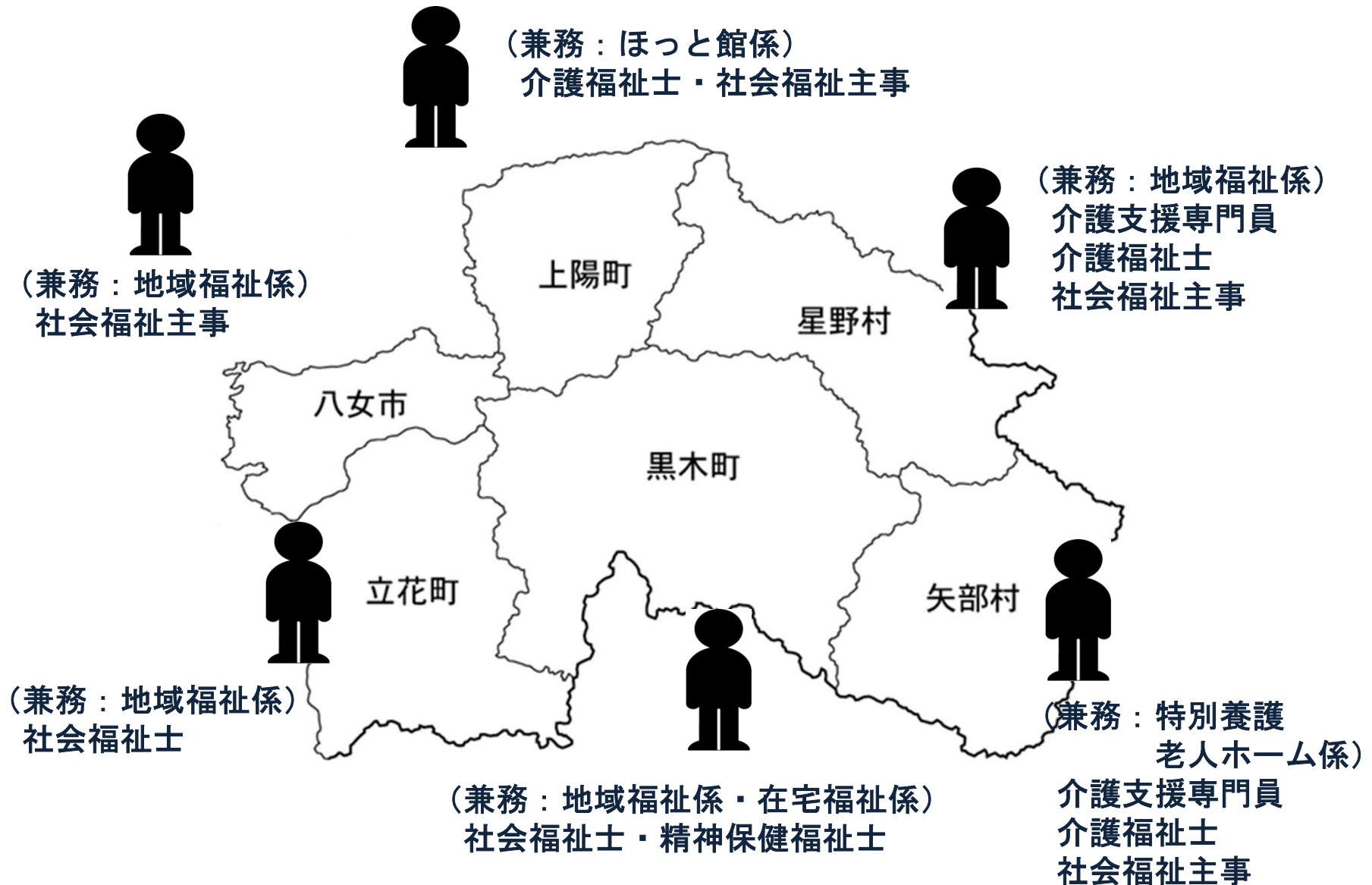
相談支援件数: 574件

相談内容【複数回答あり】



まるごとサポーター
(相談支援包括化推進員)

相談支援包括化推進員(まるごとサポーター)の配置と資格







困っているけど・・・

「どこに相談していいのかわからない」

そのようなときの

八女市社会福祉協議会

福祉総合相談センター

いろいろな心配ごとがあれば



お気軽にご相談ください！(窓口でのご相談もできます)

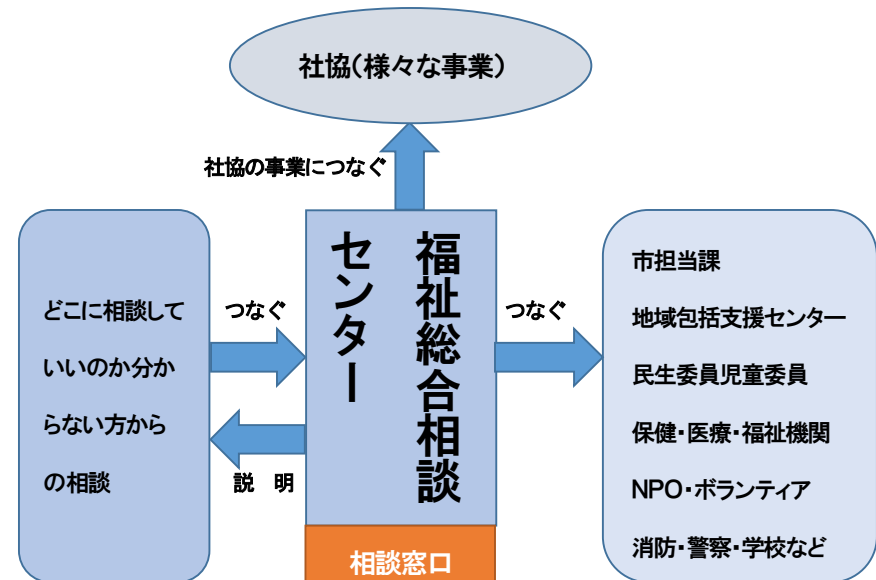
本所 ☎ 23-0294 090-8661-3684 (八女市社会福祉会館内)	上陽支所 ☎ 54-3629 (八女市地域福祉センター内)
黒木支所 ☎ 42-2131 (地域交流センターふじの里内)	立花支所 ☎ 37-0036 (立花総合保健福祉センターかがやき内)
矢部支所 ☎ 47-3123 (総合福祉団地ゆいのもり内)	星野支所 ☎ 52-3165 (星野総合保健福祉センターそよかぜ内)

社協は福祉総合相談センターを開設しました。
幅広い関係者とのネットワークづくりに努めます。

社会福祉協議会では、どこに相談していいのかわからない方々の相談窓口として、福祉総合相談センターを開設しました。福祉総合相談センターを通じて、福祉関係機関・団体とさらなる連携強化を図るとともに、幅広いネットワークを構築することをめざします。

相談先がわからない場合など、お気軽にご相談ください。

福祉総合相談センターのイメージ



ご相談いただいた内容や個人情報は、ご本人の承諾なしに他に知らせることはありません。

相談
無料

7月

8月

各種相談のお知らせ

秘密
厳守

開催日	社協本所 社会福祉会館 ☎23-0294	立花支所 総合保健福祉センター(かがやき) ☎37-0036	黒木支所 地域交流センター(ふじの里) ☎42-2131	上陽支所 地域福祉センター ☎54-3003
	心配ごと相談 第1・3・5水曜日 (13:30~16:00)	心配ごと相談 第2水曜日 (9:30~12:00)	心配ごと相談 第3水曜日 (9:30~12:00)	心配ごと相談 第4水曜日 (13:30~16:00)
7月	3・17・31日	10日	17日	24日
8月	7・21日	※お盆期間中により実施なし	21日	28日
	無料法律相談(要予約) 第2金曜日 (13:30~16:00)		無料法律相談(要予約) 第3金曜日 (13:30~16:00)	無料法律相談(要予約) 第4金曜日 (13:30~16:00)
7月	12日		19日	26日
8月	9日		16日	23日
	司法書士相談 第3金曜日 (13:30~16:00)		司法書士相談 第2金曜日 (13:30~16:00)	
7月	19日	12日		
8月	16日	9日		

各種相談事業からもニーズをキャッチする

福祉総合相談
センター

各種相談窓口
(心配ごと相談・法律相談・司法書士相談)

これらの相談窓口からもニーズをキャッチする意識をもつ

まるごとサポーター
(相談支援包括化推進員)

The background features a grid of colorful circles and rings in various shades including light blue, dark blue, green, yellow, purple, and pink. The text is centered over this pattern.

4 福祉生活支援室

～ ほっと館やめ ～

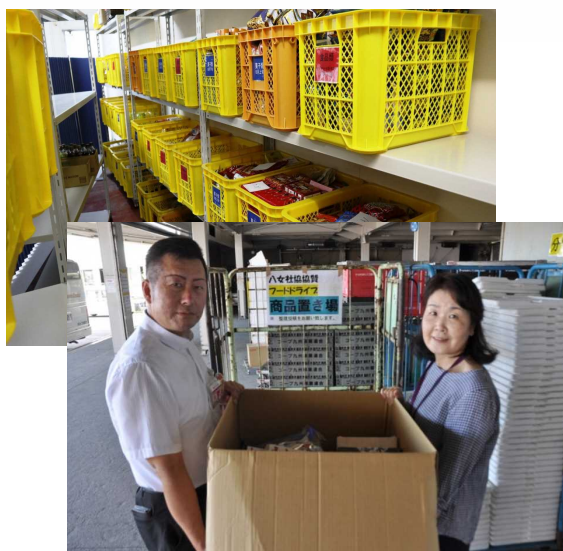
福祉生活支援室 ほっと館やめ ～ 地域力強化推進事業 ～

八女市社会福祉協議会 福祉生活支援室



- フリースペース
- フードバンクの拠点

子どもから高齢者まで誰もが
ふらっと立ち寄れる場所（現在2カ所）



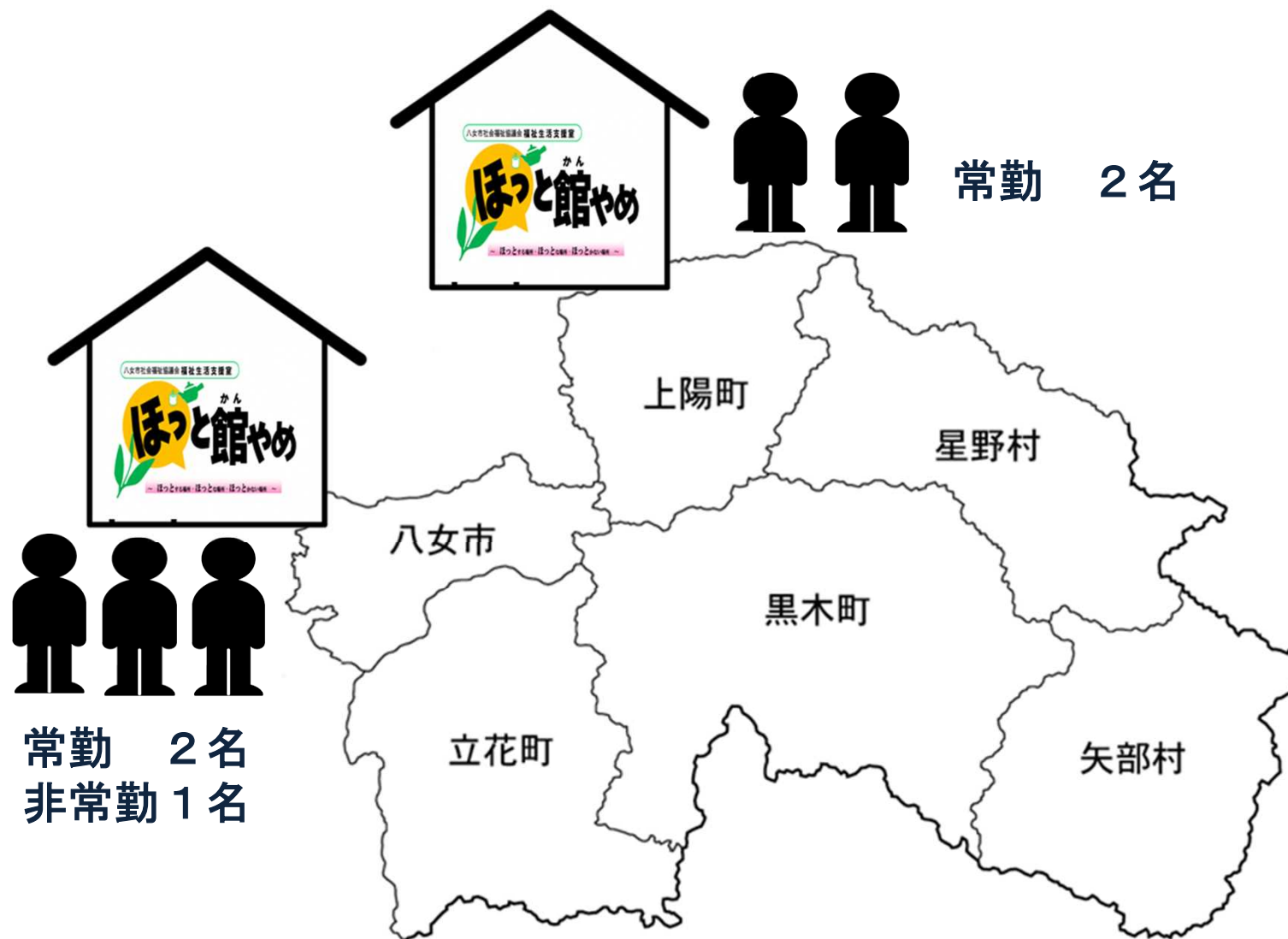
市内ドラッグストア、コンビニエンスストア、JAなどの事業者、市民の方々よりご寄付をいただき、エフコープ生活共同組合のフードドライブとも連携し、生活困難者支援を実施しています。**フードバンク**



来所者累計：684名（H30.7-12）
相談内容は多岐にわたり、様々な支援機関との連携を図り相談支援を行っています。

フリースペース₁₈

八女市における福祉生活支援室 ほっと館やめの設置



笑福クラブ親の会

～不登校・ひきこもり親（家族）の会～

語りあうことで、心を軽くしませんか？

子どもが不登校やひきこもりになって、「どうしてうちの子が・・・」
誰にも話せず、あせったり「自分の育て方が悪かったから・・・」と、苦しい
思いを抱えこんだりしていませんか。

不登校や引きこもりの子どもを持つ親（家族）同志だからこそ、不安や苦しさを
深いところで分かり合えることがあります。

長期間ひきこもっている方でも仕方がないとあきらめないでください。

親が少し勇気を出して一歩踏み出すことで状況が変わってきます。

※当事者の参加も可能です。

◆定例会：毎月第2土曜日

(4/14、5/12、6/9、7/14・・・)

・時間：午後1時30分～

・会場：おりなす八女研修棟

(都合により変更になることがあります。)*

・参加費：無料

※終了後、個別相談も可能です。

◆家族による家族のための電話相談・訪問支援

TEL080-8558-6836（着信専用）

同じような経験を持つ本会の会員が相談に応じます。

お気軽にお電話ください。相談無料

・相談日 毎週水曜日（その他の曜日でも可能ですが、つながらない時は、
申しわけありませんが、後日おかけ直してください。）

・時間 10:00～16:00

八女地区不登校・ひきこもり親（家族）の会

〈問い合わせ先〉

八女市社会福祉協議会

☎0943-23-0294



笑福クラブ親の会

～ 不登校・ひきこもり親（家族）の会 ～

【開催日時】

・ 第2土曜日

13:30～15:30

【内 容】

- ・ 参加者からの報告
- ・ 福岡県ひきこもり親の会（楠の会）への参加者からの報告
※情報提供など
- ・ おしゃべり
- ・ 精神対話士への相談

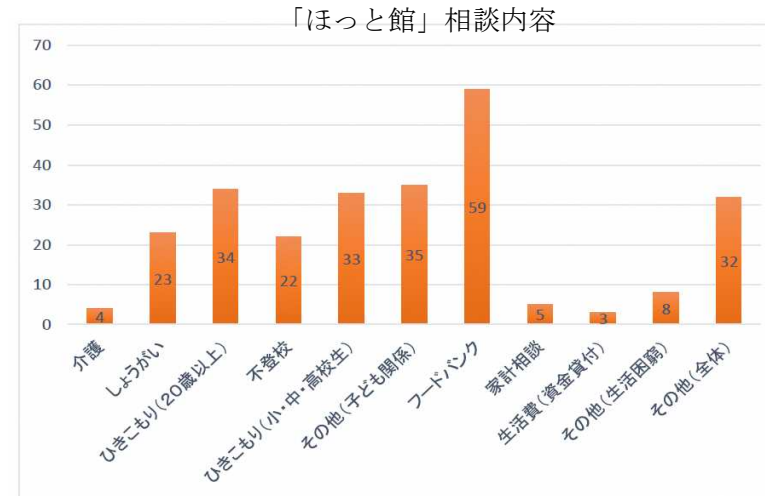
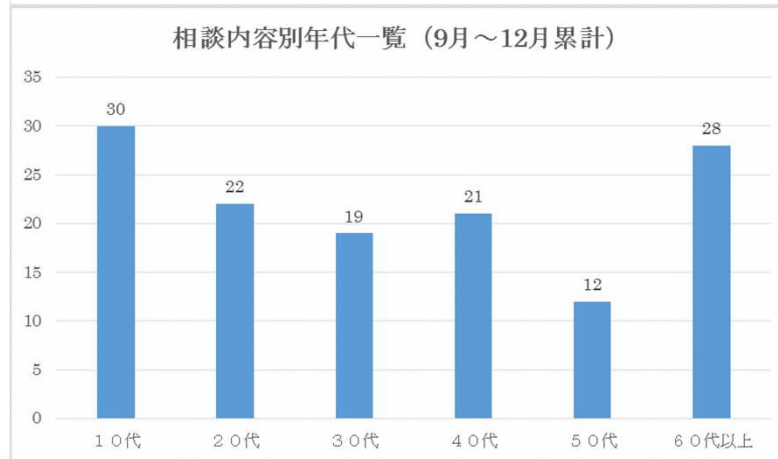
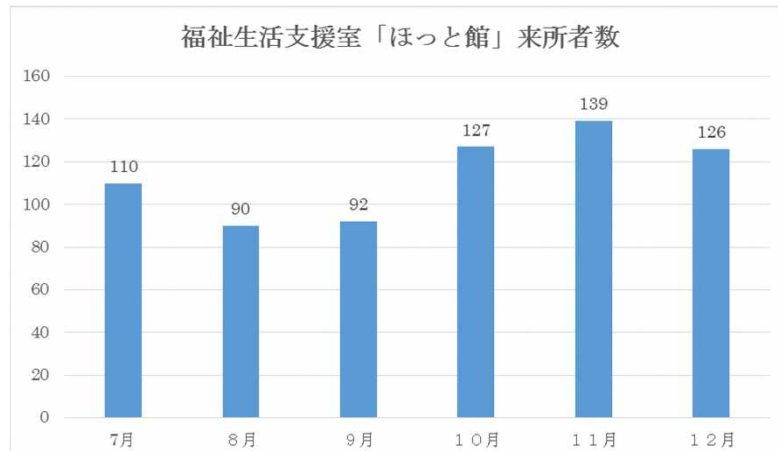
【精神対話士による相談】

・ 月2回

☆第2土曜日（笑福クラブ）

☆第4木曜日（一般）

福祉生活支援室「ほっと館やめ」の活動実績(2018.7月-12月)



生活困窮	権利擁護	高齢
不登校	ひきこもり	しょうがい
就労相談	自殺企図etc..	

【実施効果】

- ・「制度の狭間」の顕在化
- ・適応指導教室に行けない子、就労支援事業所に行けない人、引きこもりの人等の受け皿

etc...



自宅に眠っている食品を 募集します！

八女市社会福祉協議会 フードバンク事業

八女市社会福祉協議会では、生活困窮世帯又は災害時等の支援活動の一環として、フードバンク事業を行っています。食料を提供することにより生命維持のための緊急的な支援を行うことを目的としています。

★フードバンク★

「まだ食べられる」のに規格外や余剰品として処分される食品や、ご寄附いただいた食品を、必要とする方々に届ける活動です。



募集している食品

- ①主食系：カップ麺、乾麺（インスタントラーメン、うどん、パスタ）
- ②副食系：レトルト食品（レトルトカレー、味噌汁、スープ、丼物等）缶詰、のり、ふりかけ
- ③その他：野菜類、お菓子類、冷凍食品類 など

※賞味期限が1ヶ月以上～3ヶ月未満あるものを募集します。

「購入して寄附に協力してください」というものではありません。あくまでも、ご家庭にある食品のうち、消費しないものについて、ご協力をお願いします。

※ご連絡は裏面のお問い合わせ先までお願いします。

★エフコープ（筑後支所）をご利用の皆さまにおかれましては、エフコープ商品配達時に寄附商品の回収にご協力を頂いております。

ご協力いただく際は、商品配達時に係員の方にお渡しいただいてもかまいません。



フードバンク事業では、「今日明日の生活に困り、ここ数日何も食べていない」といった方や、災害等により被災された方に対して数日分の食べ物を提供して、生命維持のための緊急的な支援を行っています。

食品の募集は、福祉生活支援室「ほっと館やめ」、八女市社会福祉協議会本所・各支所にて受付いたします。

皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

↓ お問い合わせ先

- 福祉生活支援室「ほっと館やめ」
住所：八女市本町17番地2
電話：23-7777
- 八女市社会福祉協議会
本所：23-0294 上陽支所：54-3629
黒木支所：42-2131 立花支所：37-0036
矢部支所：47-3123 星野支所：52-3165





5 小地域福祉活動

～「我が事」の地域づくり～

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員） の役割

① 生活支援ニーズ把握・調整 担い手の養成・発掘

- 生活支援ニーズを把握し、担い手の養成、活動の場の発掘や調整を行います。
- ニーズとサービスの調整を行います。

② 社会資源の調査

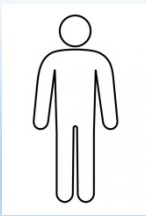
- 地域の中にある「活動・取組み」を把握します。
- 「活動・取組み」を整理し、情報提供が行えるよう「見える化」を進めます。

③ 困りごとに対する情報提供

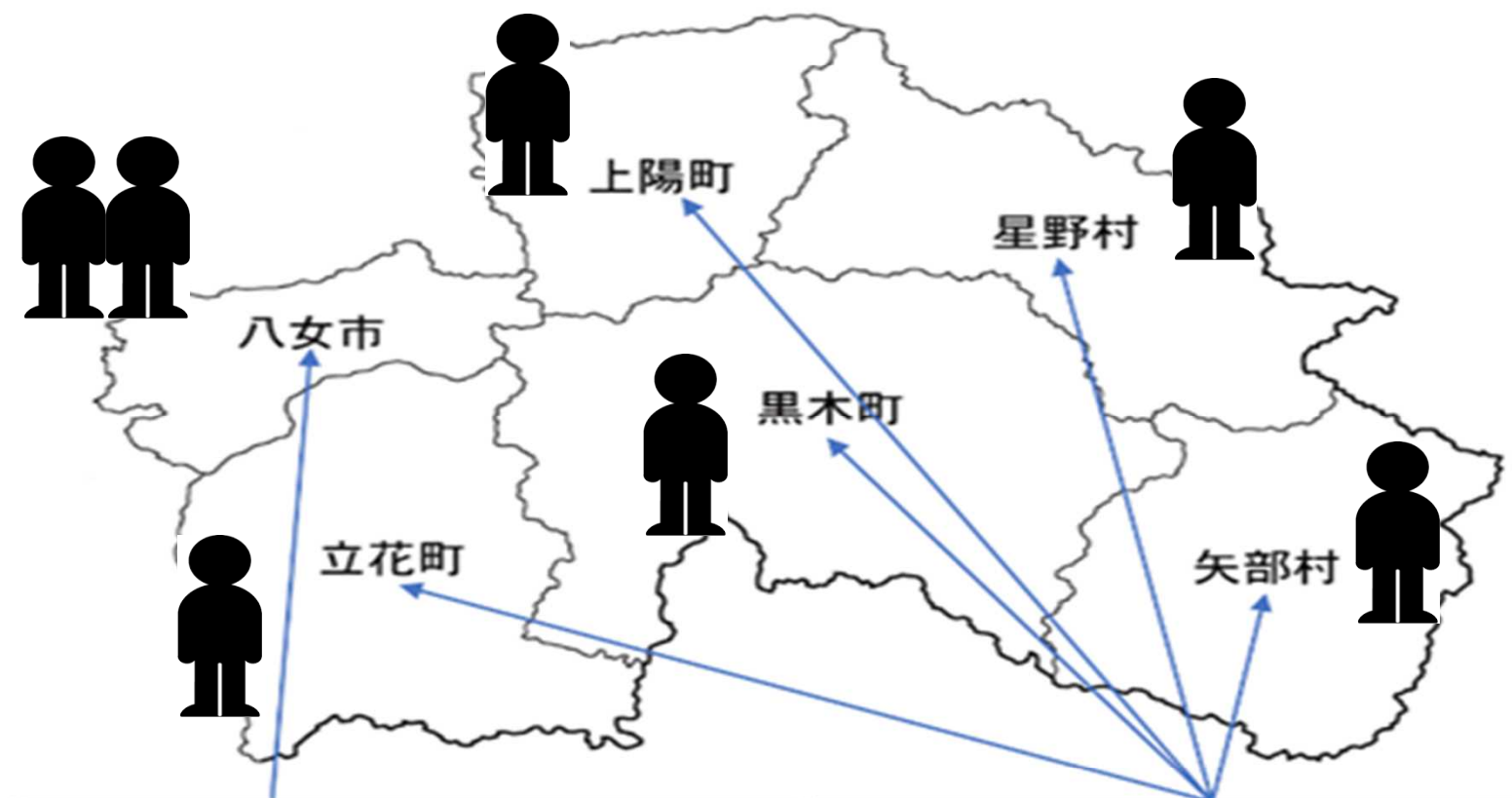
- 相談に対し、既存の社会資源・サービス、新たに開発した社会資源を紹介します

④ 話し合いの場づくり

- 地域づくりを地域で考える場を住民の方々と一緒に整えていきます



第1層 生活支援コーディネーター
(地域支え合い推進員)
1名配置



第2層
生活支援コーディネーター
(地域支え合い推進員)
2名

第2層
生活支援コーディネーター
(地域支え合い推進員)
各1名

小地域福祉活動推進とコミュニティソーシャルワーカー(CSW)



【小地域福祉活動推進状況】

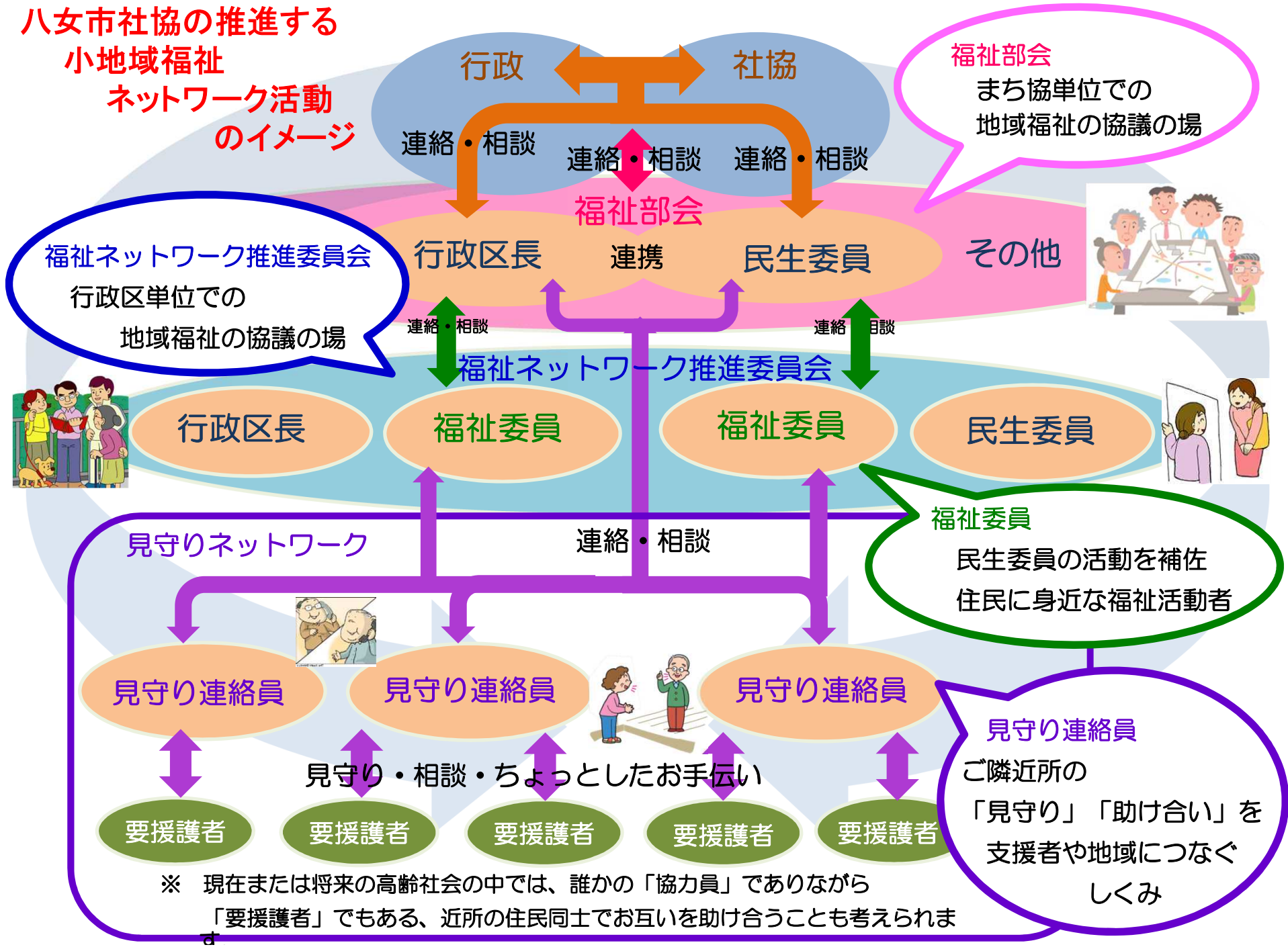
	2019.1現在	目標(2021)
福祉部会(まち協単位)	13団体	21団体
福祉ネットワーク推進委員会 (行政区や民生委員担当地区単位)	57か所	80か所
福祉委員	198人	200人
見守り連絡員	564人	640人
福祉のつどい	10回	16回
ふれあいサロン	147か所	170か所



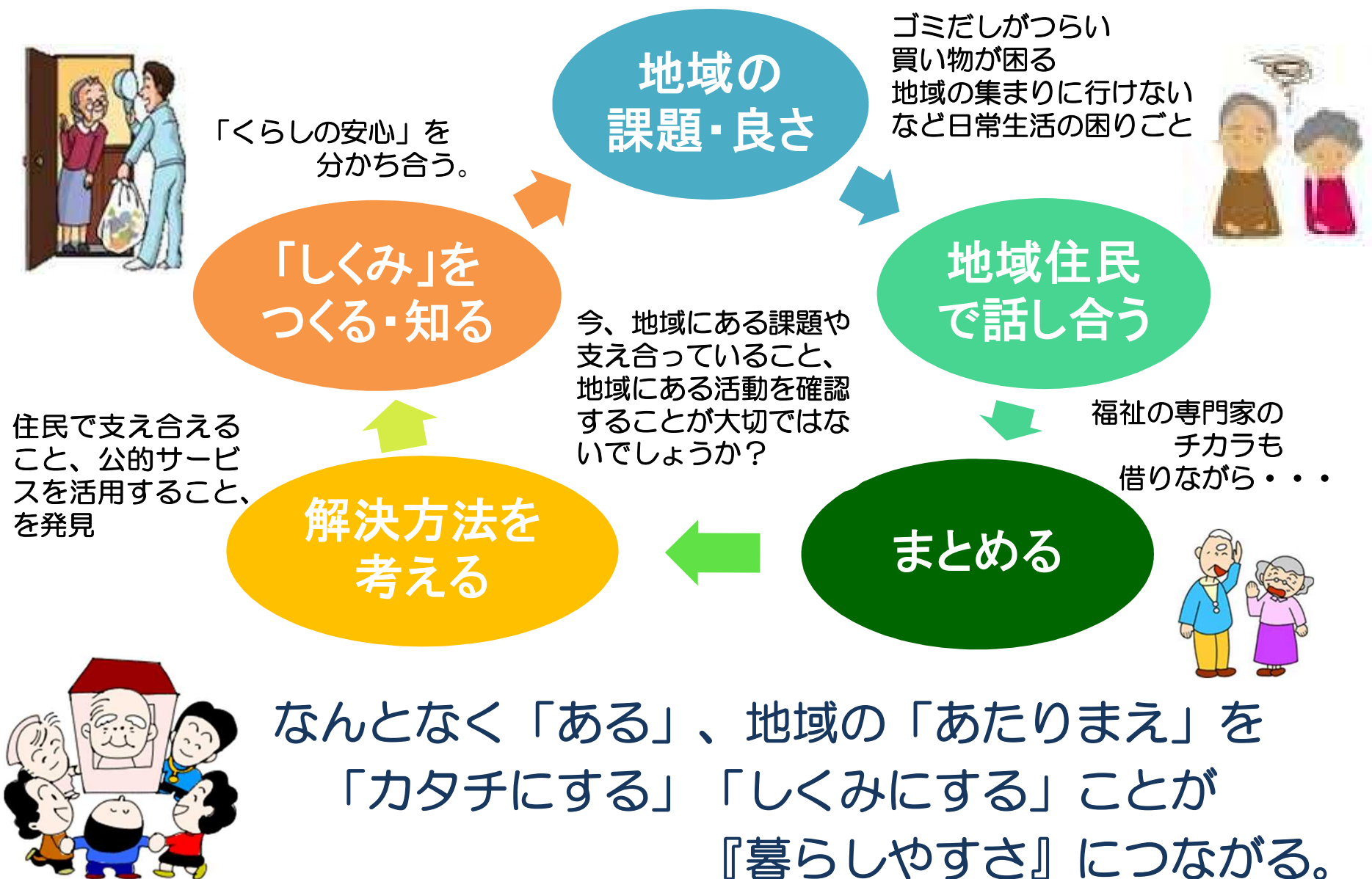
コミュニティソーシャルワーカー
(兼 生活支援コーディネーター)



八女市社協の推進する
小地域福祉
ネットワーク活動
のイメージ



地域の暮らしにある困りごとや地域の良さを住民同士で考える





見守り活動（見守りのポイント）

●見守り活動

・民生委員児童委員と話し合い、「誰を」または「どの地域の方を」見守るのか決めておく。

・見守りの方法は、「ご自宅への戸別訪問」や「日常生活を送る中での声掛けや見守り（対象者を見かけたときなど）」などがあります。

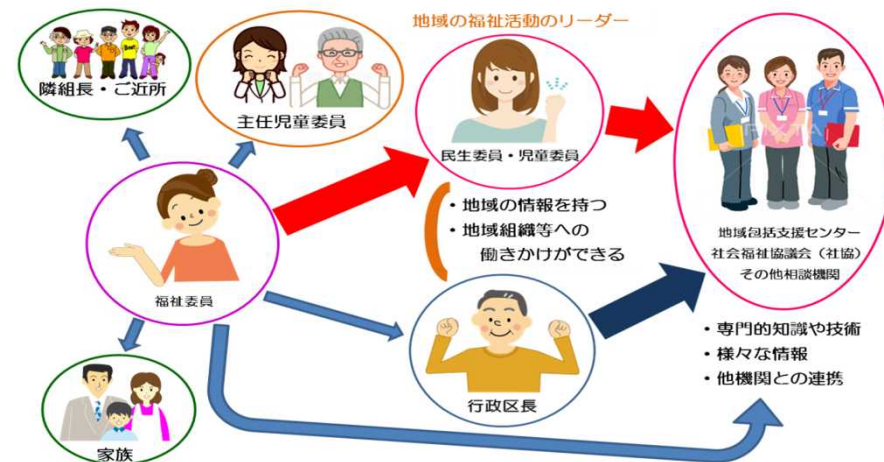
・地域行事に参加したときに参加の有無を見たり、声掛けしたり なども見守りとなります。

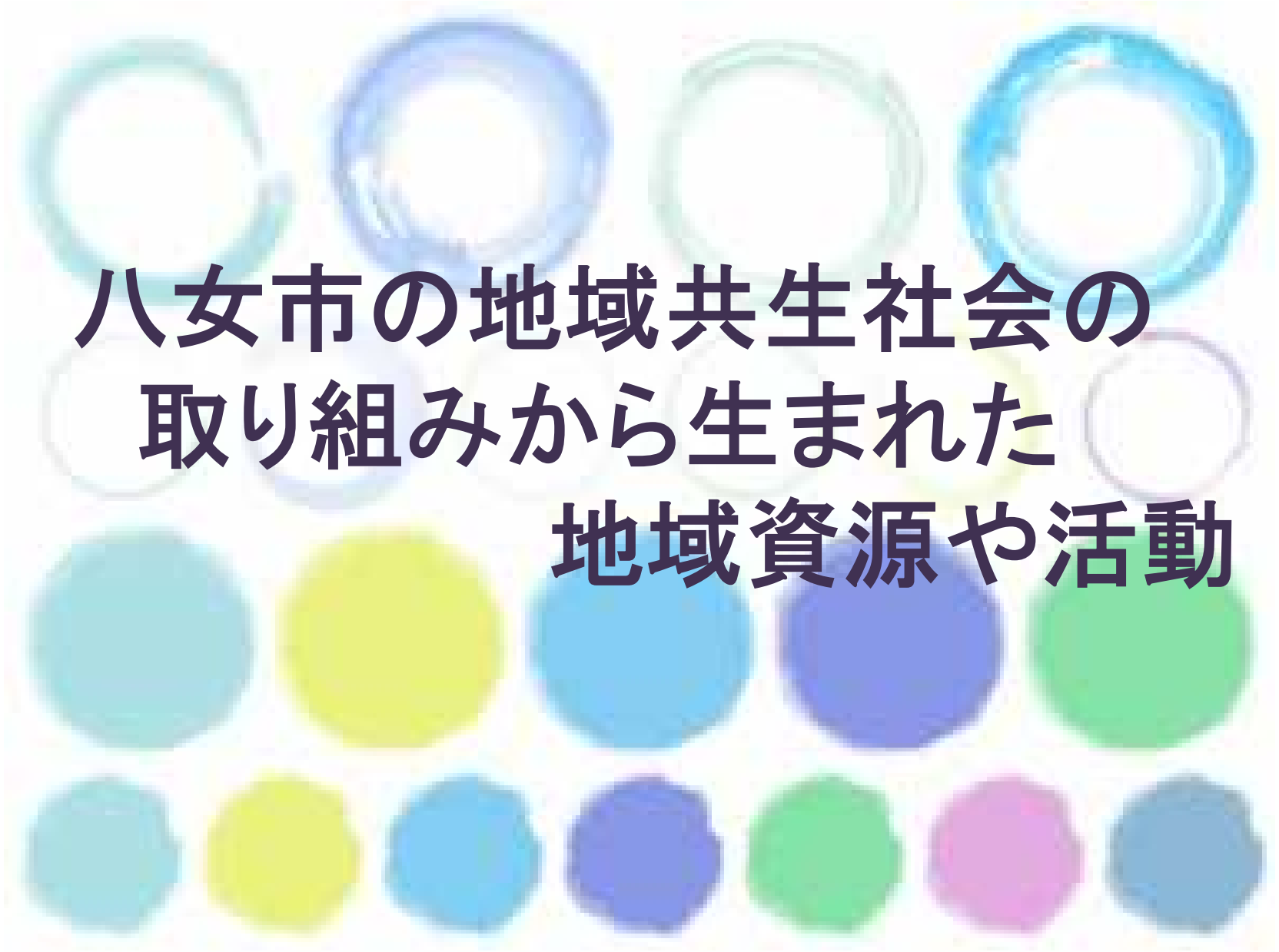
※サロンもこれにあたります

★無理のない程度で構いません。見守り活動が、日常生活の中に習慣化されると活動が楽になります。



情報をつなぐ






**6 八女市の地域共生社会の
取り組みから生まれた
地域資源や活動**

オレンジ茶屋 ひるよけ

はじめました (^_^)

お茶を飲みながら、介護での笑い話・苦勞した話
困った話など、一緒にお話しませんか？
どなたでもお気軽にお越しください。ご近所の方々
お誘いあわせの上、遊びに来てください。

6月6日(木) 13時30分から16時位まで
場所 地域交流館たかみね
〒834-1221 黒木町笠原4341番地2
☎0943-42-3057
参加費 300円(おやつ・飲み物代込み)

13:30～開店
・ハーモニカ演奏会
・楽々体操
お日のあやつ
パンケーキ 
～16:00閉店

主催：くろきま
問合せ

オレンジ茶屋 ひるよけ

はじめました (^_^)

お茶を飲みながら、介護での笑い話・苦勞話
困った話など、一緒にお話しませんか？

どなたでもお気軽に、

日時：8月29日(木) 14時から16時頃まで
場所：げんき館おおぶち (旧大淵小学校)

参加費：300円(飲食代込み)

【スケジュール】
14:00開店
流しそめん
頭と体の体操

オレンジ茶屋とは
認知症の人やその家族・地域住民・
専門職がつながりをもち、認知症の
理解を深め、誰もが住みやすいまち

乗合タクシーもご利用できます。
黒木中心部→大淵...片道300円
黒木中心部以外→大淵...片道600円

～お問い合わせ～



家に帰る前に買い物していきませんか？

かいものしえん

買物支援の店 実施中！

場所：ゆいのもり健康増進施設
(矢部歯科診療所のよこ)

まいしゅう、火曜日、木曜日
朝9：00～昼2：30

しばらくの間、ゆいのもり
で試しに実施しています。

🌸 お店にある品物

おかし パン 電池 ちり紙
つけもの カップラーメン
即席めん (うどん やきそば)
マヨネーズ その他食品 など

石橋ストアのお弁当の注文・相談も受け付けています。
(昼の弁当は10：00までに相談をお願いします。)

あつかってもらいたい商品に関する要望や
注文もお伺いしております。

お問い合わせ ゆいのもり担当：高山 0943-47-3123



7 まとめ

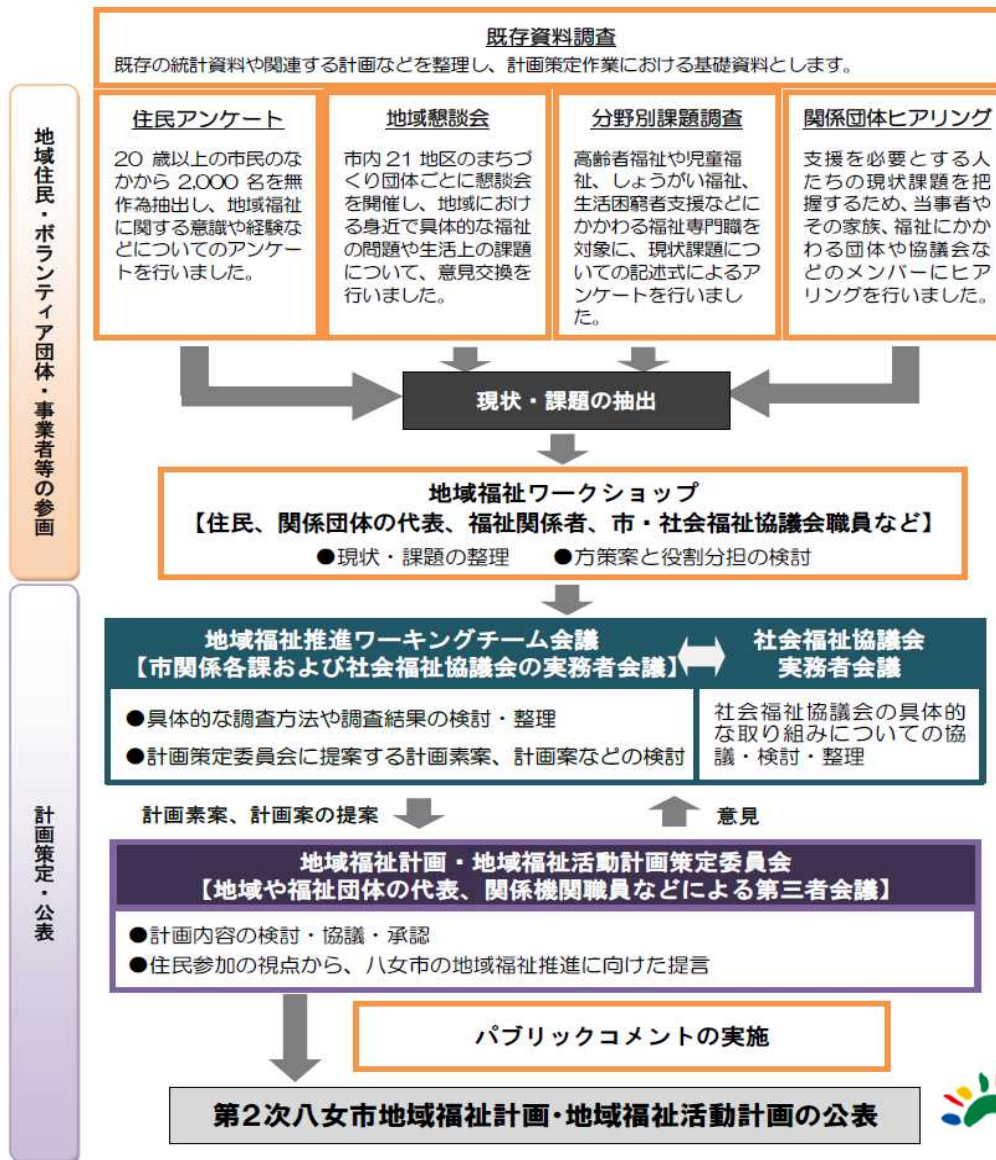
～ 課題と将来像 ～

第2次八女市地域福祉計画・地域福祉活動計画を一体的に策定 ～ 八女市と八女市社会福祉協議会 ～

第2次八女市 地域福祉計画・ 地域福祉活動計画



平成30年3月
八女市・八女市社会福祉協議会

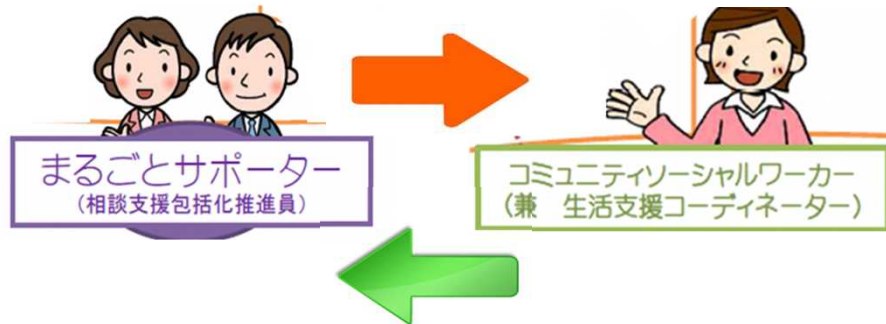


課題と将来像

①相談支援包括化推進員と生活支援コーディネーターとの連携の強化

個別支援から見た必要な地域の活動・しくみ、地域資源を求める。

個別支援へ活用できる地域の活動・しくみづくり、地域資源の把握や開発。



専門機関へつなぐ複合した課題に対応できる関係機関のネットワークの強化

小地域福祉活動の取り組みでキャッチした課題のある個別ケースの支援依頼。地域の活動や地域資源の情報提供。

④兼務する業務の部署内での協力体制の構築



- 部署内や他の部署との協力、分業
- 報告、連絡、相談などをしやすい環境づくり

②相談支援包括化推進員のスキルアップと各分野の支援機関とのネットワークの強化



- 個別ケースケア会議
- 相談支援包括化推進員連絡会
- 各分野コーディネーター連絡会
- 地域ケア会議、協議体

③すべての社協事業をつなげて考える



- 数多くある社協事業のそれぞれの目的と役割を再確認し、それをつないでいく。総合的。

⑤社協事業の見直し



- 総合的な視点から、それぞれの事業を見直す。
- スクラップ&ビルド
- PDCAサイクルのしくみ
- 会議の改善